

# 魅惑的なる

## 渋山の世界

(シヤマ あまり話題にあがらぬ玄人好みの山)



ニホンジカ  
増えすぎたのは温暖化をはじめとする人の業?植生食べつくさないで!



カワセミ  
チーツと鳴きながらの水辺低空飛行で気がつく



ニホンザル  
仕草はカワイイが田畑荒らすべからず!



セツブンソウ  
雪解けの後、いち早く咲く春からの使者



ニホンカモシカ  
いなべにもいます!



ミソサザイ  
小さな体で驚異の声量! 複雑な囀りが谷間に響く



キクザキイチゲ  
紫だけじゃなく、白花も

### 藤原・竜以外の選択肢

いなべの山と言ったらまず浮かぶのは藤原岳と竜ヶ岳。でもでもそれだけじゃない! 知名度は一步譲るけど、他にもステキな山はあるんです!

鈴鹿7Mtを踏破して初めて気づくような存在だけど、そんな山やスポットを応援すべく作られたのがこの冊子。その魅力に触れ実際に足を運べば、いなべの山ライフがさらに奥深いものになる事うけ合い。メジャールートに比べれば、やや道が細かったり分かりにくかったりするけれど、山に対して驕ることなく、真摯に向き合えば、山は必ず答えてくれるはず。慣れない人は経験者と共に、時に謙虚に、時に大胆に、自由な山歩きを満喫しよう。

### 山の魅力を見つuckerチカラ

例えば藤原岳のフクジュソウ、例えば竜ヶ岳のシロヤシオ、どちらもいなべの山の風物詩として、今や押すな押すな大人気! 確かに見応えがあるし、実際毎年出かけてしまいます。ただそれですその山の良さが全て分るかといえは答えはノン。季節ごとに、ルートごとに、そして感受性の数だけ山の良さはあるのではないのでしょうか。ちよつと洸めの山々は、ひよつとしたら楽しむ努力をしなければ、その良さに気づけないこともあるのかもしれない。興味を持つということが山の魅力を見つuckerチカラだとしたら、動物、鉱物、地形地質、体力チャレンジ、はては山で食べるごはんでもいい、ピークにばかりこだわらない、自分だけの、とっておきな山の良さを探すのもステキなことです。

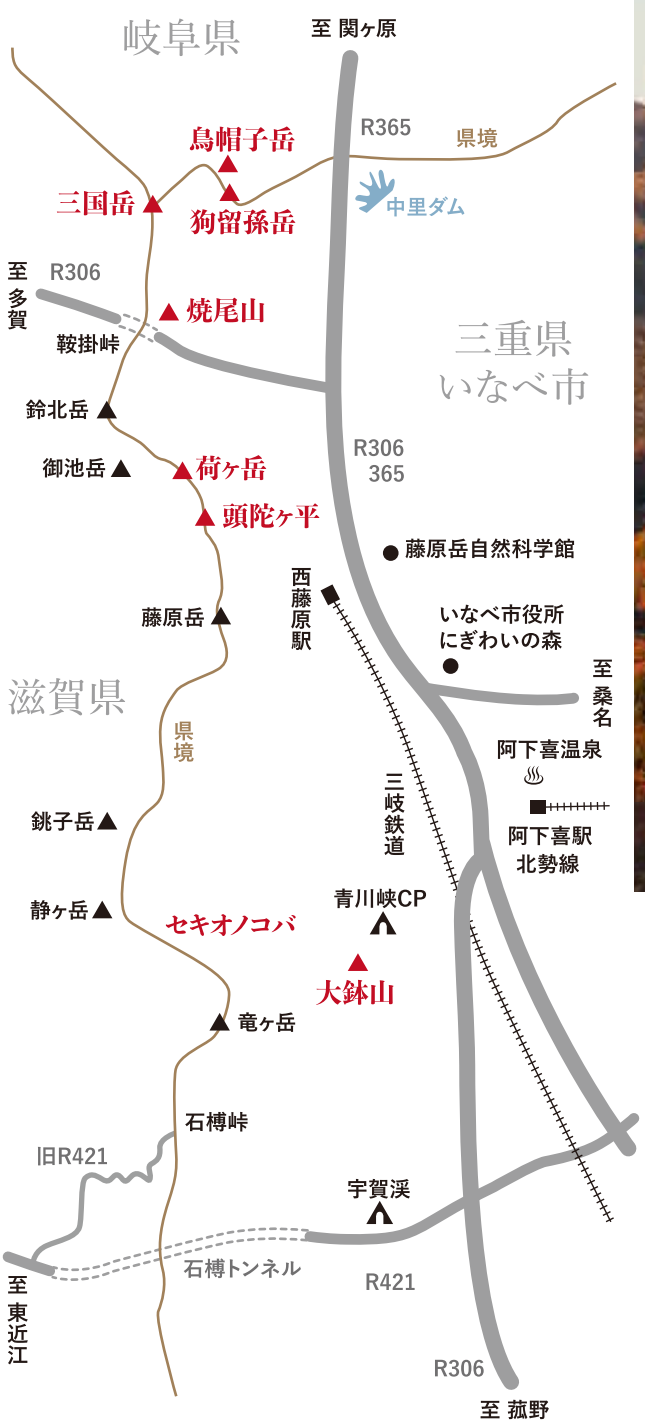
### 身近な自然だからこそ

TVや雑誌、ネットで紹介されるどこかの国のキレイな景色や珍しい自然、もっと高い山の荘厳な景観には誰もが心うたれることでしょう。ただそれとは別に、身近にある、日々当たり前存在する山や自然からこそ、何かを感じ取って欲しいと願います。自分の山、そう思えるほど意識して初めて気づく価値も多いはず。地域の人々が地域の自然の価値を正しく認識出来ること、どこにでもある、ただかか1000m級の山々だからこそ、地域の人々が誇りに思わねば誰が誇りに思うのでしょうか。いなべの山だけど、市民でなくても、ここに集う全ての人たちが、愛着を持って、誇りを持って、堂々とその良さを語り継げる、いつまでもそんな山々であって欲しいと願うとともに、未来とつないでゆく責務が私たちにはあるのだと思います。

さあ、山靴を履いて!

今日はどんな出会いが待っているの?

いなべ山女子フェスタ実行委員会



※本冊子の地図は概略図です。登山の際には必ず市販の地図やガイドブックをご利用ください。